膨張式ライフジャケットご使用の皆様にお願い！

膨張式ライフジャケットの安全使用について

落水した場合、自動膨張式であっても速やかに、作動索を引き、手動膨張させてください。

自動膨張機能は補助機能です。着用時には必ず作動索が隠れないように確認してください。

自動膨張の仕組み（例）

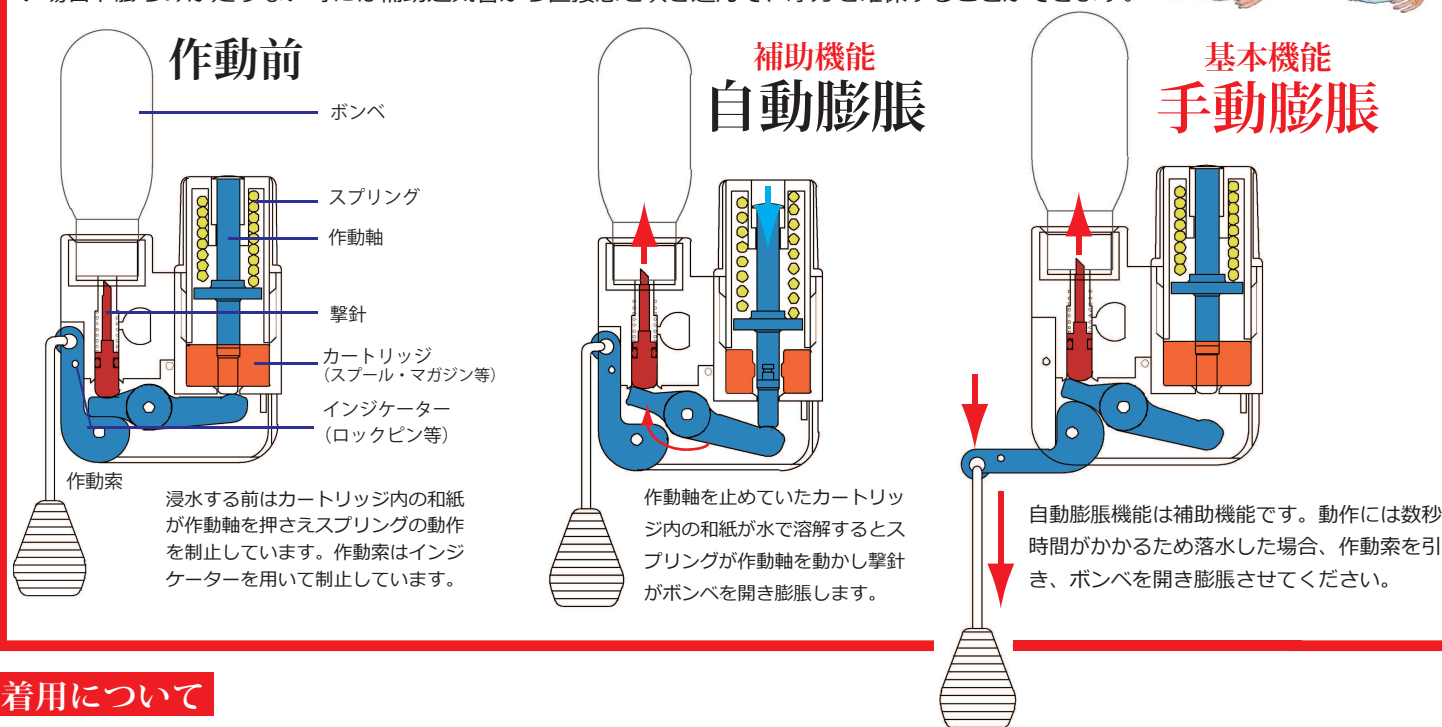
＊メーカーにより機構の配置が異なることがあります。

自動膨張式ライフジャケットの充てん装置（カット装置）には、作動索を引き膨張する手動の機能と、カートリッジ（スプール・マガジン等）が水分を感知して膨張させる自動の機能が装置の中に二つ組み込まれています。落水時の姿勢や着衣などにより、装置の浸水時間にバラツキがでますので、自動膨張は補助的な機能とされています。安全を素早く確保するために落水時には、作動索を引き膨張させてください。着用時には作動索が手ですぐに掴むことができることを必ず確認してください。万が一、膨張しない場合や膨らみが足りない時には補助送気管から直接息を吹き込んで、浮力を確保することができます。

手動で膨張！

浸水する前はカートリッジ内の和紙が作動軸を押さえスプリングの動作を制止しています。作動索はインジケーターを用いて制止しています。

作動軸を止めていたカートリッジ内の和紙が水で溶解するとスプリングが作動軸を動かし撃針がボンベを開き膨張します。

自動膨張機能は補助機能です。動作には数秒時間がかかるため落水した場合、作動索を引き、ボンベを開き膨張させてください。

着用について

1. 手動膨張させるための作動索が着用時に隠れてないか必ず確認してください。
2. ベルトの締め付けがゆるい場合、落水時にジャケットが体から抜け外れる恐れがあります。着用時はバックルのベルトを調節して体にフィットさせてください。
3. 膨張式ライフジャケットを着用する際は、必ず一番上に着用してください。合羽などの下（内側）に着用しますと、作動索が引けず、自動でも膨張しないことが考えられ、大変危険です。
4. 漁具、突起物、刃物、鋭利なもの、釣り針等で外装布・気室を傷めないようにご注意ください。
5. 作業中、頻繁に膨張してしまうなどの場合は、固型式ライフジャケットなどの使用をご検討下さい。
6. 自動膨張機能は補助機能です。自動膨張機能が付いていても万一の落水時は手動で膨張させることが基本です。
   手動で膨張させることが出来ない方や点検等が実施できない方はお客様の安全のため固型式ライフジャケットなどの使用をご検討下さい。
7. ライフジャケットは安心で安全な国土交通省型式承認品をお選びください。詳しくはご使用のメーカー・当協会までお問い合わせください。

作動索は隠れてないか必ず確認!

点検・保管について

1. 購入後は付属の取扱説明書を必ずよくお読み、必ず保管してください。
2. 購入後はガスボンベ、カートリッジ（スプール・マガジン等）が正しく装着されていること、かつ使用済みでないこと、補助送気装置（補助充気装置）、充てん装置（カット装置）が壊れていないことなどの点検を行ってください。
3. お客様の安全のため、ご購入後 1 年に 1 度程度の点検と、メーカー指定期日 (3 年以内）までに消耗品交換を必ず行ってください。詳しくはご使用のメーカー・販売店までお問い合わせください。
4. 大量に雨や水しぶきがかかったり、湿気等を帯びて陸上で自動膨張することがあります。車のトランクや道具入れ等、湿気を帯びた用具と共に放置したりすることは避け、保管時はよく乾燥させ、湿気の少ない通気性のある場所で保管してください。

膨張式ライフジャケットご使用の皆様にお願い！

年に１度の安全チェックをしましょう！

あなたの膨張式ライフジャケットこのようになっていませんか？機能が損なわれ大変危険です！

逆止弁破損

笛変形

ベルト切れ

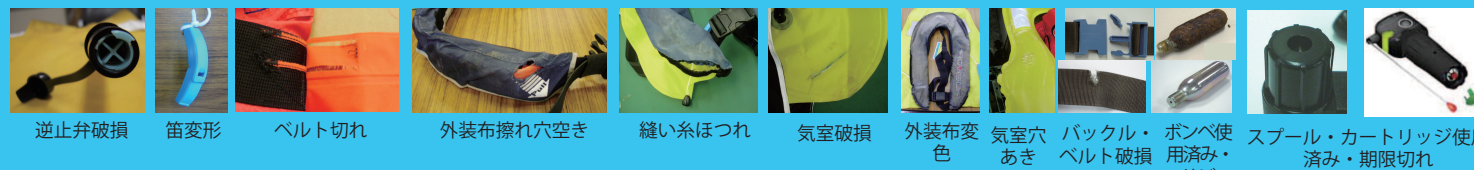
外装布擦れ穴空き

縫い糸ほつれ

気室破損

外装布変色　気室穴あき

バックル・ベルト破損　ボンベ使用済み・サビ

スプール・カートリッジ使用済み・期限切れ

膨張式ライフジャケット　点検チェックリスト（例）

気室生地（浮力部）重要チェック！

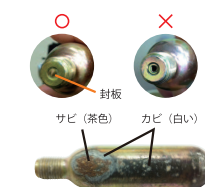
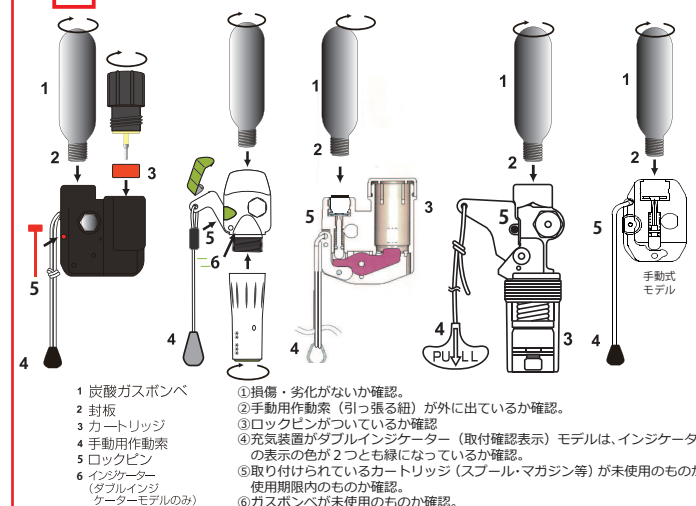
①生地溶着部に剥がれ・損傷・劣化がないか確認。
②印刷が剥がれてなくて読み取れるか確認。
③補助送気管（赤いチューブ）から口で膨らませ、空気が漏れていないか確認。

炭酸ガスボンベ　重要チェック！

①ボンベの封版に穴や傷がないか確認。
②ボンベの取り付けが緩くなっていないか確認。
（奥まで軽く回し締めた後、さらに 90° ほどきつめに締める）
③サビやカビの発生がないか確認。
④ボンベに傷や凹みがないか確認。

充てん装置 (カット装置) 重要チェック！

1 炭酸ガスボンベ
2 封板
3 カートリッジ
4 手動用作動索
5 ロックピン
6 インジケーター（ダブルインジケーターモデルのみ）

①損傷・劣化がないか確認。
②手動用作動索（引っ張る紐）が外に出ているか確認。
③ロックピンがついているか確認
④充気装置がダブルインジケーター（取付確認表示）モデルは、インジケーターの表示の色が 2 つとも緑になっているか確認。
⑤取り付けられているカートリッジ（スプール・マガジン等）が未使用のものか、使用期限内のものか確認。
⑥ガスボンベが未使用のものか確認。

カートリッジ（スプール・マガジン等） 重要チェック！

製造から 3 年以上経過したものは交換をしてください。それ以内のものも早めの交換をお勧めします。

期限月（5 月）　期限年（2015 年）

製造年月（平成 16 年 1 月）

製造年月（2013 年 2 月）

製造年月（2013 年 7 月）

カートリッジ、（スプール・マガジン等）、水分を感知するパーツには使用期限がありますのでご確認下さい。使用期限が表記されているタイプ（上）、製造年月が表記されているタイプ（下）など、メーカーや機種によって違いがありますので、ご注意ください。使用期限設定には若干違いがありますが、概ね製造から 3 年以内で交換してください。
また、気室からのエア漏れやボンベの緩み・外れなど、経年劣化による破損箇所の発見には自主点検が有効です。ご使用前や使用開始から 1 年に 1 回程度の自主点検実施をしてください。ご自分での点検にご不安な場合はメーカー点検（有償）をご依頼ください。

通常時 (膨張前)

カバー
生地・縫製部に損傷、劣化等がないか確認。

ベルト
縫製部に損傷、劣化等がないか確認。

手動用作動索
割れ、切れ、絡まりがないか、直ぐに引けるように出ているか確認。

プラスチック部品
損傷、劣化等、バックルが緩くなっていないか確認。

ホイッスル
音が出て、ヒモで繋がっているか劣化・損傷・ひび割れがないか確認。

炭酸ガスボンベ

充てん装置 (カット装置)

膨張時

気室生地（浮力部）

再帰反射材
剥がれ・劣化がないか確認。

（補助充気管）
補助送気管
劣化・損傷・ひび割れ溶着部に剥がれ・損傷・劣化
キャップが取り付けられているか
口で吹いてみて、空気が正常に送れるか確認。

＊メーカーにより機構の配置が異なることがあります。

小型船舶関連事業協議会
http://www.jc-kyougikai.org/
〒102-0073 東京都千代田区九段北 4 丁目 1 番 3 号 5 階
TEL / FAX：03-3239-0091

第 1･2 部会 (型式承認品救命具製造メーカー)
高階救命器具株式会社・東洋物産株式会社・日本救命器具株式会社・日本船具株式会社・藤倉航装株式会社・アキレス株式会社・RFD ジャパン株式会社